

TASC

Tokai university
Alumni Society of
Communication engineering
department

東海大学通信工学同窓会

2012年12月1日号

発行者 東海大学通信工学同窓会
会 長 中西孝夫
URL <http://tasc.gr.jp>
住 所 〒232-0076 神奈川県横浜市南区
永甲台43-9
土岐晴美 気付

東海大学通信工学同窓会の皆様には、平素より学園の諸活動に多大なるご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

工学部通信工学科は、2001年度改組改編に伴い、その学科名称としては廃止いたしました。電子情報学部へ発展させ、その後2006年度には情報理工学部へ、2008年度には情報通信学部へ、その時代の社会環境の変化・ニーズに合わせて、その学問分野の核は継続されておりま

このたび、新規の同窓会会員開拓として、前述の学部学科へ働きかけていることを伺い、その血脈は続いており、1万2千人を誇る通信工学同窓会が、更により発展できる基盤が整ったと安堵するとともに、会長



東海大学学長 高野 二郎

ご挨拶

をはじめ役員の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

東海大学通信工学同窓会は、皆さんの社会での活躍に極めて大きなものであり、その活躍ぶりは、世界に及んでいます。このことは、大学にとって大きな誇りであり、東海大学の歴史の中でも輝かしいものであります。また、大学に残り、教職員として後進の指導に熱心に取り組みをされ、次々に人材の育成にご努力されてこられた方々はじめ同窓会の皆様の大学へのご支援、ご協力に対し、敬意を表し、御礼を申し上げます。

工学部通信工学科は、大学創立者松前重義先生の業績を直接引き継ぐ学科として、東海大学でも最も歴史のある活気あふれる学科としてその存在感を示してきました。



会長 中西 孝夫 (66卒)

ご挨拶及び活動報告

若林先生の会長辞任の後を受け本年度より会長に就任いたしました。微力ですが当会の発展のために尽くす所存ですので宜しくお願いいたします。

再出発して5年目の昨年に会報創刊と初回の維持会費納入を会員の皆様にお願いたしましたところ多くの皆様からのご支援を賜り今後の継続運営への弾みとなりました。会員の皆様に深く御礼申し上げます。「親睦と研鑽」の基本方針に基づく活動のご報告を申し上げます。先ず一つ目は会員の皆様向けのイベント活動としては春秋の講

演会、親睦会を継続して続けて参ります。春は高輪キャンパスで会員の皆様向け技術的な内容の講演会、今年は菊地浩明教授による「震災復興と情報セキュリティ技術」、懇親会は学園食堂で開催し恩師、同級生、同窓生とご歓談を楽しんでいたできました。秋はホームカミングデーに合わせて開催し、ご家族、ご友人の皆様にも楽しんでいただける生活や文化に重きを置いた講演会、今年は畑中秀行氏(86通信卒)「近くて遠いロシアでの生活体験」を企画しました。懇親会は大学同窓会

主催の総合体育館で開催されます大懇親会に会員の皆様と一緒に参加して他の学部、学科の皆さんとも幅広く交流していただける内容となっております。二つ目は会員の皆様との交流ですが「会報発行」を継続してきちんと活動報告をさせていたできます。合わせて恩師の近況、会員の皆様からの情報、趣味、エッセーなど幅広いジャンルで編集しお届けいたします。更にホームページ、メールも情報提供の手段として利用してまいります。会員の皆様は全体の約

15%ですので「会報の郵送」は必須と考えています。この費用が維持費の大半を占めています。三つ目は当会運営に関する活動ですが、*会費納入のお願い、*大学同窓会活動への参画、*支部活動として名簿管理、*支部活動支援、*大学の改組に伴う継承学部との連携があります。本件に関し昨年は情報通信学部通信ネットワーク工学科の第一回卒業生の表彰をいたしました。この活動を通して継承学科との連携を深めています。更に今後の活動に関しては会員の皆様の声を良く聞き当会の活性化に取り組んでいきたいと考えています。何卒忌憚の無いご意見を賜りご指導をお願い申し上げます。

会計報告 2012年実績、2012年予算

収入の部

科 目	2011年度実績			2012年度予算			備考
	予算 (a)	実算 (b)	b/a (%)	予算 (c)	c/a (%)	c/b (%)	
1. TASC会費	1,000,000	1,565,000	156.5	1,100,000	110.0	70.3	550人
2. 雑収入	100,000	282,822	282.8	300,000	300.0	106.1	
(1) 行事参加費			0.0		0.0	0.0	
(2) 会報広告掲載料		210,000	0.0	200,000	0.0	95.2	
(3) 同窓会支援金		30,000		60,000	0.0	200.0	
(4) 寄付金							
(5) 御祝儀	100,000	40,000		40,000			
(6) 受取利息		722					
(7) 雑費		2,100	0.0		0.0	0.0	
当期収入合計	1,100,000	1,847,822	168.0	1,400,000	127.3	75.8	
3. 前年度繰越金	4,769,894	4,769,894	100.0	5,226,152	109.6	109.6	
4. 過払金精算未処理金	0		0.0		0.0	0.0	
収入の部合計	5,869,894	6,617,716	112.7	6,626,152	112.9	100.1	

支出の部

科目	2011年度			2012年度			備考
	予算 (a)	実算 (b)	b/a (%)	予算 (c)	c/a (%)	c/b (%)	
1. 運営費	360,000	208,201	57.8	913,990	253.9	439.0	
(1) 通信費	10,000	17,930	179.3	30,000	300.0	167.3	
(2) 会議費	80,000	13,720	17.2	553,990	692.5	4,037.8	
① 理事会	20,000	0	0.0	10,000	50.0	0.0	
② 総会・代議員会	50,000	13,720	27.4	533,990	1,068.0	3,892.1	
※会議費	50,000	13,720		50,000			議案書印刷代他
※総会案内費				483,990			
③ 監査委員会	10,000	0	0.0	10,000	100.0	0.0	
(3) 交通費	30,000	11,960	39.9	50,000	166.7	418.1	
(4) 旅費	50,000	0	0.0	30,000	60.0	0.0	
(5) 事務消耗品費	10,000	9,476	94.8	20,000	200.0	211.1	
(6) 情報管理システム費	60,000	58,800	98.0	60,000	100.0	102.0	
(7) 支部結成準備費	30,000	0	0.0	30,000	100.0	0.0	
(8) 慶弔費	30,000	0	0.0	30,000	100.0	0.0	
(9) 振替払手数料	10,000	66,315	663.2	60,000	600.0	90.5	550人×110¥件
(10) 雑費	20,000	0	0.0	20,000	100.0	0.0	
(11) 予備費	30,000	30,000	100.0	30,000	100.0	100.0	
2. 支部運営費	50,000	0	0.0	50,000	100.0	0.0	
(1) タイ支部	25,000	0	0.0	25,000	100.0	0.0	
(2) 札幌支部	25,000	0	0.0	25,000	100.0	0.0	
3. 事業・行事費	1,410,000	1,183,363	83.9	1,280,000	90.8	108.2	
(1) 会報発行	200,000	0	0.0		0.0	0.0	
(2) 会費徴収	1,000,000	1,028,055	102.8	1,100,000	110.0	107.0	会報発行代含
(3) 春の講演会	100,000	30,000	30.0	30,000	30.0	100.0	総会/講演会：講師料
(4) HCD	110,000	125,308	113.9	150,000	136.4	119.7	
① 広告掲載費	50,000	50,000	100.0	50,000	100.0	100.0	
② チラシ印刷代		35,300		40,000		113.3	
③ 通信費	10,000	0	0.0	10,000	100.0	0.0	
④ 講師料	30,000	30,000	100.0	30,000	100.0	100.0	
⑤ 雑費	20,000	10,008	50.0	20,000	100.0	199.8	
当期支出合計	1,820,000	1,391,564	76.5	2,243,990	123.3	161.3	
4. 次年度繰越金	4,049,894	5,226,152	129.0	4,382,162	108.2	83.9	
5. 振込手数料未払金			0.0		0.0	0.0	
支出の部合計	5,869,894	6,617,716	112.7	6,626,152	112.9	100.1	

2012年度東海大学通信工学同窓会活動方針

1. 全体活動

- 1) 大学同窓会へ学科同窓会として参画
*校友会活動、同窓会代議員会、HCD学部デモなど
- 2) 理事会開催 (定例会：四半期毎)
- 3) 総会 (定例会：3年毎)、代議員会開催 (定例会：毎年)
- 4) ホームカミングデー参画、同窓会サロン (講演会) の開設、広告掲載
- 5) 大学の協力を得て会員資質向上のための講演など企画実施
- 6) 会報発行 (全会員宛に活動報告など)、会費納入依頼
- 7) 通信ネットワーク工学科卒業生表彰 (通信工学科のDNAを持つ学科)
- 8) 会員名簿管理 (更新作業)
- 9) HP、メール・システム活用と円滑な運用
- 10) 会員交流推進 (親睦会など)
- 11) 個人情報保護の徹底
- 12) 大学の学部等の改組に伴う学科同窓会との協調推進

2. 支部活動

- 1) 支部活動を支援し活性化を図る
支部総会など支援

大

情報通信学部

世界で活躍する情報通信技術者の育成を目指して

情報通信学部長 吉田正廣 (76卒)

教員と各学科の教員が連携した「専門英語」の授業、TOEIC®IP テストなどを実施し、国際社会で活躍できる人材の育成に努めています。

高輪キャンパスは、東海大学全体としてみれば非常に小さなキャンパスです。しかし、規模は小さいながら、東京都心のキャンパスとして、東海大学のブランド力向上、情報発信などを含む学園の経営戦略的な面で非常に重要な役割を担うキャンパスであると考えています。したがって、私達は、常に東海大学全体のことを意識して教育・研究活動に取り組み、情報通信学部を立派な学部で育てると共に、新しい東海大学の伝統を築いていく必要があると考えています。

今後とも卒業生の皆様のご支援とご協力を宜しく申し上げます。

私が通信ネットワーク工学科を選んだ理由

通信ネットワーク工学科三年 蓮沼慎太郎

私が通信ネットワーク工学科を選んだ理由は小学生の頃から抱いていたインターネットへの興味です。様々な便利なサービスがインターネット上で提供され、私も将来コンピュータやインターネットを使ったビジネスがしたいという気持ちが強くあり通信ネットワーク工学科へ進学しました。

学園生活

情報通信学部は2008年に品川高輪キャンパスに新設され、設備が新しく快適な学園生活を送っています。大学の講義では自分の手で演習するものが多いのが特徴で、グループでシステムを共同で開発するプログラミング講義や、Linux系OSを使ったサーバの構築などを行っています。また私は大学で学んだ知識をより深めるために自宅でサーバを構築し、Webサービスの開発及び提供などを行っています。

就職活動

就職活動は講義の後に企業の説明会へすぐに行ける等高輪キャンパスの立地は良いと思います。実際にインターンシップに参加した際には高輪キャンパスの立地の良さを感じました。

最後に

高輪キャンパスは新設されたばかりですが国際会議や学会、民間主催の勉強会が開催されています。高輪キャンパスでICTに関して学生と企業、学術機関が大学を中心に密接な関係になれると思います。

学園生活

通信ネットワーク工学科 一年生 鈴木千里

私は父の影響もあり、将来パソコン関係のお仕事に就きたいと思っていたので通信ネットワーク工学科に入りました。そこではネットワークの歴史や仕組みなどを教わると同時に、プログラミング等といった実践的な内容も学んでいます。自分が興味を持った学科に進んだだけあって、講義は知識欲をそえられる内容ばかりです。何気ない日常と結び付けて話される余談などもあり、覚えておきたいものをノートに書き留めるのが大変になることも多々あります。

その一方で、大学の講義では高校までの授業以上に聞き慣れない単語が頻出し、最初は少し戸惑いました。しかし授業後や休み時間は勿論、研究室へと赴けばいつでも先生に質問が出来るので、挫折することはありません。また、空き教室が開放されているというのも、学校で自主学習したいという生徒には嬉しい利点です。

今はとにかく講義に置いていかれないよう、必死についていく状態です。今後応用が増えていくのかと思うと不安になることもありますが、自分のペースで1つでも多くの技能・知識を取り込むつもりで食らいついていこうと思います。

在校生より

舞台は世界。

情報通信関連業務を国内、海外レベルで実施

icp 国際通信企画株式会社

◇本社◇ 〒222-0033

横浜市港北区新横浜 1-19-2 京浜建物第 5 ビル

42GHz HDTV Wireless camera Systems

代表 岡 聖吾(62年卒)

周波数シンセサイザ と 42GHzワイヤレスカメラ の

株式会社システックリサーチ インク

TEL : 042-759-7440 FAX : 042-759-3234 E-mail : info@sys-tec-r.com

SEIWA 誠和通信システム株式会社

代表取締役 中村 寛栄 66年卒

141-0031 東京都品川区西五反田 1-32-4 サンユウ西五反田ビル 6階

電話 03-5487-0941

e-Mail: nakamura@seiwacom.co.jp

261-0013 千葉市美浜区打瀬2-16パティオス17番街1F

GALLERY KIKI

代表取締役 山根 治仁(62年卒)

TEL043-296-1258 FAX043-296-1368

Email yamane@gallery-kiki.com Hp gallery-kiki.com



I T雑感

町田 東一 先生（名誉教授）

庭の藪桔がどうだんつつじにからみついている。尻糞蔓も大威張りでつつじに巻きついている。

不摂生のため病を得て病院通いの非日常を送っている日々である。テリトリ草は伸びほうだい、見かねてかみさんが一部を除草してくれた。

久々にバスや電車に乗る。そこで見るのは面白い光景である。まずバス運転手との会話は皆無。カードを読み取り機にかざすのみ、運転手に声をかけても無言。つぎは電車、これもカードをかざすだけでホームへ電車に乗る。みると乗客の何人かはいすに座るとやおら携帯電話を取り出して操作を始める。まるで神主がしゃくを扱うように、憑かれた表情で操作に没頭している。友達や家族と一緒にでも会話はない。でも中高年者のガハハの笑いを伴った会話よりはましか。そうこうしているうちに病院に着く。入口に病院の職員がいて挨拶をする。通る人は知らんぷり。

今日は診察に先立って採血と採尿がある。診察カードを受付機に入れると採決順番紙と尿コップがポロンと出てくる。昔はコップに名前を書いたがそれは不要。採決時に名前の確認がありここでは声を出さなくてならない。診察を受ける科に行く、カードを受付機に入れる。番号紙が出てくる。それとカードを受付係に渡す。診察室の番号が知らされる。ここでも言葉は不要。診察室の前で待つ。これからが長い。早くて一時間、長いときは三時間にも及ぶ。I Tが発達しても人間が介在するところはままにならないということ。しかし、カルテは電子カルテで検査結果や他科の診察内容はどこでもわかるらしい。こうして診察が終わりまた受付でカードを出し、精算へ。まず点数の計算である。時間によっては長い列になっている。I Tもまだここはダメらしい。何か容易に出来そうに思えるが。ここでもカードが必要。最後に料金の支払い。自動支払い機がありカードを入れると金額が表示されお金を入れる。すると領収書と予約表が出力される。ここはよく出来ていると思われる。しかし、カードや領収書の取り忘れが多い。次の人は忘れた人に声をかけずに知らんぷり。こうしてその日の診察は終了した。カードの必要回数は五回、忘れたときにはどうするのか聞きたいと思っている。

昨今、I Tに関連する事件が多々起っている。I Tは発達しても人間のこころ発達せず、寧ろべんりになったぶん自分勝手になっているのではと思うのは私だけだろうか。

会社生活時代と 大学生活時代を通して！

鈴木八十二 先生

2010年6月、通信工学同窓会主催での退職（退官）記念講演から早2年経ちました。その節には、大変お世話になり、有難う御座いました。

私は、松前重義先生の“建学精神”に感銘して1963年東海大に入学、4年後、（株）東芝に入社、会社生活時代では、全国発明賞受賞、NHK総合テレビ「電子立国・日本の自叙伝、第4部 電卓戦争」に出演などを行なって参りました。

会社生活において、従事してきた半導体（IC／LSI）、液晶（LCD）などの研究開発の面白さを若い人達に伝えたいと思い、1995年、東海大・教授に就任。大学生活時代では、学生と研究・勉学を楽しく行ない、論文など約170件を発表。また、経産省プロポーザル審査委員、NEDO開発機構審査委員、照明学会・電子情報機器光源に関する委員会委員長、光産業技術振興協会・ディスプレイ調査専門委員会委員長、SEMI部品・材料分科会会長、熊本テクノ産業財団・液晶デバイスの基礎講座講師などを歴任し、2010年3月に退職。学部生140名、院生30名を世に送り出し、学生と共に充実した学園生活を送って参りました。特に若者に対しては、“FITであれ！つまり、Fresh Idea Tryすれば、未来（Future）、無限（Infinity）に伸びる技術（Technology）になると！”



自筆画は、スペインを旅した時のトレド・タホ川に掛かるアルカンタラ橋（旧橋）

この2年間は、世界各国を旅しながら水彩画を描き、先端技術である“エコ・デバイス”の単行本を2冊まとめる等を行なってきております。



皆様こんにちは。微力ながら東海大学通信工学同窓会（TASC）広報理事を務めさせて頂いております増田和則（松尾研88年卒）と申します。宜しくお願ひいたします。現在、勤務地は早稲田（東京）で主に官公庁システムのプロジェクト管理全般に従事しております。居住地は、生まれ育ったのが小田原市（神奈川県西部）ということもあり、同じ足柄平野に属する南足柄市に、実家にも徒歩で行ける場所にローンを組んで小さいながら一戸建ての家を建て、4人（妻、子供（一姫二太郎））と暮らしております。東京も住めば都かと思つたこともありましたが、通勤は大変でも在来線分は会社負担して頂き、新幹線増分は自己負担しての新幹線通勤を入社以来、20年以上続けております。

最近、通勤時間も長いこともぼんやりと考えていることは、人生も社会人生も半分は経過していることもあり、自分自身で「想い」という言葉

（飲みすぎには注意です）最後に、お酒は大好きなので、こんな私ですが、どなたか「一杯飲みましょう」よ。masuda090@softbank.ne.jp

「アザーン」の旋律で思う

マレーシア日本国際工科院 若林 敏雄 先生

クアラルンプールでの滞在も1年になります。マレーシアは面積33万km²（日本の90%）人口約2,840万（日本の約22.2%）で、マレー系66%、中国系25%、インド系8%、その他1%の多民族国家です。宗教はイスラム教、仏教、ヒンドゥ教、キリスト教などですが、マレー系の大半がムスリムです。モスクは数キロ毎に建っているといっても過言ではありません。それらのモスクには一際高い塔があります。その塔にはスピーカーが数個取り付けられています。1日に5回、夜明け前、昼過ぎ、影が自分の身長と同じになる時、日没後、就寝前にアザーンの旋律が周囲から時間差で聞こえてきます。お祈りを告げる時間です。最初の内は戸惑っていましたが、いつの間にか自分の中で、元気がない、小節がきている等と評価し、すっかり定着しています。それで同僚の1人にいろいろ尋ねてみると、例えば、所用で遠方（約90km以上）に出かけ、困難な場合には時間をずらしてもよいが、できるだけ近くの礼拝所でお祈りすることが勧められているとのこと。また、海外の場合には、困難であると考えた時には省略してもよいが、あとでする必要があるとのことでした。いずれにしても自ら考えて実行すればよいということです。



写真は大学構内にあるモスク、塔にはスピーカーが取り付けられている

国内の場合にはガソリンスタンド、駅構内など至る所にお祈りの場所（Surau）が設けられております。その場所はSURAUと表示されており、利用者数に応じた広さになっているらしいが、偶像などは置かれていない。ムスリムは自由に利用することができるということです。

近況報告

松尾 守之 先生（名誉教授）

2009（平成21）年3月、48年間立ち続けてきた教壇を下り（退職した。自由な身となり、まず、数学を純粋に楽しむ場を作りたいという「大人の為の数学教室「和」（なごみ）」の講師として、社会人に数学を教えることになった。現在、3人に教えている。IT企業の若手社長には代数学を、大手企業の品質管理技術者には統計解析を、そして、中堅企業の女性課長には幾何を教えている。受験や実利が目的ではないので、数学の原理原則にまで立ち入りながら数学の楽しさを指導している。毎週、学習意欲も目的意識も強い方々と学ぶことは、いい刺激になる。また、教室の先生方、といっても殆どが数学を専門とする若い方々、との交流も大いに勉強になり、切磋琢磨している。

一方、これも縁あって「はまなす」という俳句結社にはいり、毎月の句会で俳句を発表しながら、互いに批評しあっている。句会の他にも、総合雑誌「望星」の俳壇（主宰・黒田杏子先生）にも投稿している。本年6月号に「母の日にその手に馴染みし湯呑かな」と投句したところ、「母の日にその手に馴染みたる湯呑」と添削された上で入選させて頂いた。

かねて、高校時代から好きだった詩吟をやりたいと思っていたが、近所に著名な吟道会があることを知り、早速、その門を叩いた。最初は上手く声が出なかったが、最近では杜甫や李白などを吟じることが出来るようになってきた。都内や横浜での発表会に出ることもある。詩吟は大声を出すので、心身の健康にもよく、また、漢詩の背景や意味を勉強するのも楽しみである。

俳句も詩吟も70の手習いなので、兄弟子に追いつくのは並み大抵ではないが、目標ははっきりしている。数学も社会人に教えることで新しい発見があり、受講生とともに学んでいる。かくして、数学、俳句、そして、詩吟に勤しむ日々である。



“想いを
伝えること”
増田 和則（88卒）

通信量を圧縮する工夫は様々なところで行われてきた。昔のことであるが、かつて南氷洋に展開された捕鯨船団あての膨大な数の年賀電報の電信にテープレコーダの早回しを使った話は高校時代の通信術の先生から伺った。また、電話で音声を送る折に帯幅を圧縮する技術としてフィルタを使い、受信側で信号を若干補うシステム研究の



『情報とい
ことばの概念』
町田 茂雄（67卒）

データ収集をしたささやかな経験などを思い出すが、現在の通信技術から見ればアナログ技術の限界がそこにはあったと思われる。

「情報」が溢れているとかそれに振り回されている、という声をしばしば耳にするようになってから随分と長い時間が経った。シャノンに始まる「情報理論」を学んだ当時

含まれる意味のこと」と理解して量的には対数を使つて表した。この理解からいうと、天気予報で「今日は波が高くうねりを伴うでしょう」と聞いたときに、私のように山の中に住む者にとつての意味は小さくて情報量は無に等しいことになる。このようにメッセージから得るところの「情報」は受け手によって違ってくるというふうに考えていたのである。しかしどうやらそれは変わってしまったようである。「情報」という言葉が示す概念はどういう時期に、何をきっかけとして変わってきたのであろうか。

「向坂 俊治先輩との思い出」



和船友の会はっぴ姿（細川氏）

細川 保弘（66卒）

今年の1月31日にfacebookにて向坂俊治（通信64卒）先輩の訃報を知りました、私の人生で一番長い付き合いがあり最もお世話になった恩人の突然の逝去は大きなショックでした。先輩の人生を皆さんに紹介しながら思い出を語りたく筆をとりました。

入学後どの部活に入ろうかと迷っていた時、私の趣味のアマチュア無線を安全確保に利用しているからと強く入部を勧められたのがヨット部（当時海洋部）の主将向坂先輩でした。その時より先輩との半世紀の付き合いが始まりました。大学時代の特記すべき思い出は「部」として自前のヨットを持つため部員全員が向坂先輩のスキューバダイビングの交流関係より見つけた後楽園でアルバイトをしつて費用を貯め2年後、ある大手デパートの社長の所持していた艇を購入しヨット部の基盤を作ったことです。当時の金額で70万円、初任給1万円の時代大変高価なもので向坂先輩のリーダーシップで成し得たものです。卒業して私は米国の空調機メーカーの日本代理店に就職しましたので米国出張の機会を度々得ました。先輩は日本の通信系会社に2年努めた後米国に既に移住されていたので出張の都度有益な助言をいただき大変面倒を見ていただきました。

逸話の一つとして2人でロスのヨットハーバーに食事に行く途中豪雨に見舞われ先輩の愛車のスポーツカーが浸水するハプニングを思い出します。先輩のおかげで私のみならず家族全員が米国が大好きになり、長女も米国企業に就職し米国人と結婚してフロリダオーランドで楽しく暮らしています。2人の孫の顔を見るため夫婦で渡米するのは大きな楽しみです。さて最も紹介したいのが向坂先輩がベトナム戦争に従軍した「生き方」です。60年代後半命懸けでの2年半従軍し、無事戦争から帰り米国民権を得られました。先輩の真の目的は何であったのか、残念ながらそのことに関して多くは語ってくれていません。そして「ヒューズエアークラフト」に就職、米国最高機密であった当時の最新鋭の戦闘機のリーダーシステム設計構築に従事して業務を完遂させています。引退後少し体調を崩されていますが米国に行くたび向坂先輩にお会いするのが私の最大の喜びでした。先輩の急死は私の心に痛みを残し今も癒えてはいません。先輩との有意義な半世紀が走馬灯のように目の前に浮かんできます。先輩の天国でのご冥福をお祈りするとともに残された奥様、お子様に心より哀悼の意を表します。

さて、私たちが半世紀前に立ち上げた東海大学ヨット部は現在3艇を所有し各種競技に参加し活躍していることを嬉しくまた誇りに思います。また私は海が忘れられず海釣りを趣味としながら江戸和船の伝統を未来に残すべき「和船友の会」の副会長としてボランティア活動を楽しんでいます。

ご参照：http://wasen.web.fc2.com/



ボート（学生時代の向坂先輩）

初代連合後援会会長 浜地文平先生と松前重義博士

中西 孝夫（66卒）

私の郷里、三重県伊勢出身の浜地文平先生が東海大学の初代連合後援会会長としてご活躍されたことを知ったのは恥ずかしいことですが卒業してずっと後のことで浜地先生と親交のあった亡き父からである。当時、浜地先生も松前博士も共に衆議院議員で有られたが政党の異なるお二人がどのような交流を持つようになったのか、浜地先生にどのような実績を残されたか大変関心を抱きこのコラムを書かせていただいた。

浜地文平先生は1893年（松前博士より8歳年上）度会郡南伊勢町で生まれ、5歳より気丈な祖母に育てられ強い自立心を養われた。祖母の期待に添い三重師範卒業後郷里の学校の教壇にたつていたが第一次大戦が終わり世の中のムードが高揚し29歳になったとき祖母から身代を引き継いだのを機会に郷里の村長になり翌年30歳で三重県会議員に当選する。その頃より「憲政の神様」尾崎行雄、「真珠王」御木本幸吉との交流が始まる。その後1939年44歳で衆議院議員に初当選するまで戦前9年間、国会議員として活動される。公職追放解除後1952年69歳で衆議院当選、自由民主党の重鎮として要職歴任、特に水産業界には造詣が深く日本鯉鯔漁業連合会会長などの要職に就かれた。1962年東海大学連合後援会会長就任、1966年14

年間活動し政界引退。1970年東海大学連合後援会顧問就任、同年皇學館大学理事長就任、1986年逝去（93歳）。趣味は書道、随筆、短歌、浄瑠璃と文芸面に於いて多彩で有られた。さて浜地先生と松前博士がどのようなにして接点を持ちお互いの強い信頼関係を築いたかであるが、その様子は松前博士が書かれた「浜地文平先生を偲ぶ」（皇學館大学出版部発行）に記されている。浜地先生が合格されたお孫さん（西川元之氏、原子力63卒）の教育に関して挨拶にこられた、自民党の大幹部が社会党所属の私にわざわざ頭を下げになった、これは常識で考えられないことであつたがえてお孫さんへの愛情の故と察し限りない敬意表さざるを得なかった。それからまもなくして連合後援会を組織することになったとき真っ先に浮かんだのが浜地先生であり就任を依頼したところ快諾をいただいた。連合後援会会長就任後の浜地先生の活躍に関しては「昭和40年代（1965年代）東海大学は大きな2つの問題に直面した。1つは他大学同様学園紛争に直面したが、浜地先生が各地区後援会を動かし父兄により学生の指導を抑えてくださった。その結果他大学と比べ学園紛争の少ない大学として評価を受けた。」もう1つは郵政大臣のF.M東海の再免許拒否問題である。東海大学のF.M放送教育の目的を深く理解され、自らの

名で檄を飛ばし全国30万の署名を集められた。浜地先生のこのご努力は私は今尚忘れられない」と勉強意欲のある勤労青年に対してのF.M東海による教育機会提供を継続できたことに深く感謝を表されている。さて幸いにも前述のお孫さん（西川氏）の弟の土屋欣志（電子68卒）から浜地先生が生前良く話された逸話を伺ったので披露したい。「代議士研修会後の懇親会で社会党である松前博士が「白虎隊」を歌われたいのを聞いて気に入り松前博士との付き合いが深まった。」また浜地先生が連合後援会をリードされた1962年から1970年間は東海大学は大きく発展する創世の時期であり多くの学部、付属高校、新キャンパスが生まれた。清水の海洋学部開設において地元漁連との間を水産業へ造詣から取り持たれた。また新キャンパス設立に関して大物代議士の反対にあつたが排除し開設を支援され

た、などの話をいただいた。結びに際して私個人感としてお二人共強い信念と信条を持たれており特に日本の将来を考えた教育への信条を共有されていたのではと思われる。松前博士は二人の間を「肝胆相照らす仲」と表現され、「先生と私の相互信頼に思いを馳せるとき私はその毅然とした男性的大人物たる姿を思い起こす」と結んでおられる。明治生まれのお二人の硬骨の魂に敬意と尊敬の念を表してこのコラムを閉めた。

最後に貴重な資料を提供いただいた土屋欣志氏に深く御礼を申し上げます。



郷里に建てられた浜地先生の胸像



浜地先生の政治哲学の基となった伊勢神宮

訃報

（1926年6月15日
12011年10月27日）

佐藤 達男 先生

佐藤達男先生は1953年3月に早稲田大学を卒業され、同修士課程を1955年に修了されました。その後1957年に専任講師として東海大学に奉職されました。

1958年（超短波FM放送実験局「JS2AO」）（後のF.M東海）が開局の年）に助教授に昇格され、1968年には教授に昇格されました。1993年3月31日に定年退職されるまで36年間、多くの通信工学科の学生を指導されました。1993年4月1日に東海大学名誉教授就任。

先生の主な業績のご紹介

- 佐藤達男：計算機用半導体スイッチの試作及び研究、東海大学紀要 工学部1961, No.1, pp. 29-37。
- 佐藤達男：線形グラフを用いた不完全順序機械の最小化の方法、電子通信学会誌D, Vol.J58D No.5, pp.225-232, May 1975。
- 佐藤達男：自動制御、電気学会、1963年5月
- 佐藤達男：電子計算機、オーム社、1963年5月
- 佐藤達男：電子計算機のプログラミング、電気学会、1970年10月
- 参考資料：東海大学工学部50年史、その他

享年85歳でした。心よりご冥福をお祈りいたします。

富山薫順 先生 記



事務局便り

2013年度春の講演会、懇親会及び代議委員会を6月8日（土）に開催します。

本年度より事務局長に就任いたしました土岐晴美と申します。よろしくお願ひします。

早速ですが来年度の行事をご案内いたします。6月8日（土）は同窓会会員の皆様向けの講演会と懇親会を高輪キャンパスでの開催を予定しています。詳しくはホームページ、メールでご連絡いたします。また同日に代議員会も開催いたしますので代議員の皆様はご予定ください。

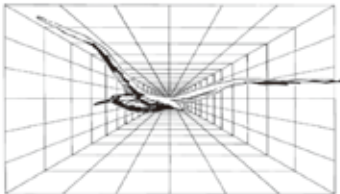
当会発展のため建設的なご意見をお待ちしていますのでよろしくお願ひします。

どんな事でもご遠慮なくお問い合わせください。

事務局長 土岐 晴美（88卒）

メール：jimnu@tacsc.gr.jp

教育用・医療用機材のコンサルタント



東海教育産業株式会社

代表取締役 杉下道生

TEL0463-92-1881（代）

神奈川県伊勢原市下粕屋164番地

ホームページ <http://www.tokai-eic.co.jp/>